

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) クレアメディコ	代表者	内田 邦彦	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑長岡藤沢	管理者	阿部 洋之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 個別担当職員を事前に決定し、個別担当職員にて事前情報を基に対応表を作成し、利用開始前に周知する。 対応表を基に対応を実施、実際に関わった中での様子をこまめに記録に残し、利用開始から1週間は昼礼にて連日情報共有する。対応表は随時修正していく。 カンファレンスは必ず月1回行う。職員の思いや考え、日頃の気づきを共有する。 昼礼参加職員全員がご利用者の様子、気づき、対応等について必ず何かしら発言する。 毎月1回、事業長・主任・ケアマネージャーリーダー・看護師が集まり、ご利用者の状態ニーズに応じてサービス提供できているか検討会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別担当職員が意識して関わり、対応の提案や発信等が増えている。 対応表を随時修正しながら対応周知、実施が出来るが作成の遅れが出ている場合がある。対応の把握が行い切れていない場合が職員間である。 昼礼にて適宜共有と修正案の提案が行えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 統一したケアができるように、引き続き利用者情報の共有に取り組みで頂きたい。 特に初めて介護サービスを利用する方は、サービスへの抵抗や異なった認識をされている事もあるかと思しますので、丁寧な対応を続けていただきたい。 ご利用者様一人ひとりのアセスメントを丁寧に行い個別対応や情報共有がなされていると感じました。 マンツーマンミーティングが毎月行っていない事ですが、職員へのフォローや意見の聴取は今後どのような形でいきますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応表ベースへの修正箇所を適宜加筆、および昼礼・申し送り表での情報発信を行う。 実際に関わった中での様子をこまめに記録、利用開始から1週間は昼礼にて連日情報共有を継続する ミーティング時間の固定化を行い情報共有の場の定着改善を行う。 Google での MM 内容の確認 および、緊急度に合わせた改善対応の実施を図る、軽微対応については即日対応にて職員フォローを計る。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 連日のリネン交換や清掃に加え、月1回の月例会議時は出勤職員全員で整理整頓・清掃を行う。 季節を感じていただける飾りつけ作りを継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じる飾りつけについては適宜実施できている状況がみられるため今後も継続の必要がある。 清掃については曜日等の日取りを決め実施できるよう調整するも、実施抜けや調整不足が生じる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議に伺った際には、季節ごとに利用者として作成した飾りつけを拝見できる事を楽しみにしています。 季節感のある飾りつけについては、運営推進会議の際に作品づくりや活動の写真を通じて紹介して頂いております。ご利用者が楽しまれている様子が伝わってきますのでこれからも取り組みを続けて頂きたいです。 季節の飾りつけは毎月変化があり楽しませていただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前の実施報告を担当・当日リーダーより伝達、特別清掃に加え、月1回の月例会議時は出勤職員全員で整理整頓・清掃を行い、清潔保持を図る。 季節を感じていただける飾りつけ作りを楽しみと共に、継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 雑巾プロジェクト（雑巾を手縫いし、近隣の小中学校に寄付するもの）を継続して行う。毎週水曜日に行う。何枚完成したか、ご利用者がわかるようにして、よりやりがいにつながる。 小学校へ寄贈に伺えるよう準備をしていく。直接ご利用者様が生徒へ渡すことで地域貢献地域とのつながりを感じていただく。 地域の行事には可能な限り参加していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 雑巾づくりは行っているが、参加者や曜日を決めての調整が難しくなっている状況がみられる。 小学校生徒が町探検で来苑された際に寄贈することが出来ている。 苑での様子を簡単ではあるが新聞としてご家族へお伝えすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 雑巾プロジェクトでは利用者が意欲的に取り組んでおられる様子が伺えました。 また、児童との交流の際には、皆さんの優しい笑顔が印象的でした。 児童との交流の機会まで含めて、引き続き取り組んで頂きたいです。 雑巾プロジェクトはご利用者のやりがい、地域とのつながりなど、多くのメリットがあるように感じます。さわやか苑が自慢できる取り組みだと思しますので、これからも続けて頂きたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との関係性を作り、地域貢献を通して生活の張り合い、生きがいに繋げるために雑巾プロジェクトを継続する。町探検等の関わりを生かす。 月1回苑での取り組み、ご様子を新聞として作成し、配布取り組みを知って頂く。地域や周辺事業所に対しても情報発信につなげていく。

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雑巾プロジェクトにて地域と関わる。 ・個別担当職員にて行きたいところ、観たいところを伺い思い出の場所等へドライブに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の側溝掃除や公園の草取りは必ず参加できている。 ・秋祭りを開催することができた。 ・外出は行えているが、職員主導の内容が多いため引き続きご利用者様の願いを叶えられるようにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者一人ひとりの行きたいところ、思い出の場所などに着目し、その方の思いを尊重した関わりを行っていることは、素晴らしいと思います。 ・普段の活動の様子は運営推進会議内でもカラーコピーした写真を見せていただき知ることが出ています。自己評価にある苑の様子を新聞にしたものも是非見せて頂きたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雑巾プロジェクトの継続と祭りを開催して、地域の方との交流を図る。 ・参加できる地域行事、交流会は可能な限り継続参加していく。 ・冬場のリハビリ等活動量を増やし、外出等の機会に備える。 ・担当ご利用者様との関わりを深め外出等の機会継続を計る。
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回現場職員が1名参加できるようにしていく。外部の評価を聞くことでやりがいやケアに活かしていく。 ・運営推進会議にて事業所を実際に見て評価していただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、ケアマネージャー以外の職員参加は1回のみであった。 ・事例検討会実施は行えず。 ・事業所を観ていただく機会を設けていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で出た意見を現場職員とはどのように共有されていますか。現場職員が毎回参加するのは難しいかもしれませんが自分で行っている取り組みの評価の場にもなりますので、ご都合がつけば参加して頂き、職員の声も是非聴かせて頂きたいです。 ・外部の評価等聞くことで、現場職員の取り組みが変わるのではないと思う。 ・運営推進会議の場で、イベントや日常の様子などの写真を楽しく拝見しています。機会がありましたら、小多機スペースの様子を見学させていただけると良いなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員が1名参加できるようにしていく。外部の評価を聞くことでやりがいやケアに活かしていく。 ・運営推進会議にて事業所を実際に見て評価していただく。 ・事例紹介や検討の場を設け、様々な意見をサービスに取り込むことが出来るようにする。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の反省点を改善した訓練を行う。 ・当日訓練に参加できない職員への伝達含め全員が実際に起きた場合に動けるよう訓練をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を確実に実施し、職員の理解を深めることができた。改善点は多くあったため、次年度に活かしていく。 ・近隣住民の参加等はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練に参加できなかった職員へ、どのような方法で訓練結果や改善点等を伝えていきますか。対応についても、文書での発信・共有を図れるようにしています。 ・災害時には事業所だけでなく地域との連携がとても重要になると思います。事業所が所在する地域の防災計画、訓練の実施状況を把握し日ごろから協力し合える体制づくりをして頂きたいです。 ・家族への連絡などの体制等も知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の反省点を改善した訓練を行う。 ・当日訓練に参加できない職員への伝達含め、全員が実際に起きた場合に動けるよう訓練を行っていく。 ・継続計画をもとに災害時でも対応が可能となるよう、共有や対応を図る。 ・近隣住民の協力や委員会の担当者が参加できるよう、スケジュール調整や実施予告など発信できるよう整備行う。